

# 前立腺がんについて

## 検査について

検査入院の  
平成 22 年  
データ

前立腺がんの  
検 査

標準的な入院  
スケジュール

## 治療について

治療入院の  
平成 22 年  
データ

前立腺がんの  
治 療

標準的な入院  
スケジュール

前立腺がんとは

前立腺がんの  
病期分類

※上の目次をクリックするとそれぞれの項目に移動します。

(項目が見あたらない場合は、同じページ内にありますので、下にスクロールしてみてください。)

※文字を大きくしたい場合は、マウスを右クリック→【ズームツール⇒ズームイン】にて調整してみてください。



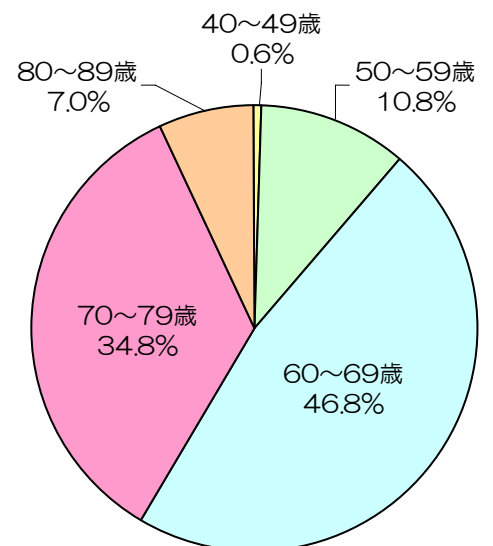
## 検査入院の 平成 22 年度 データ

### ◎入院患者数◎

前立腺針生検の目的で入院した患者数	158 人
-------------------	-------

### ◎年齢構成◎

40～49 歳	1 人
50～59 歳	17 人
60～69 歳	74 人
70～79 歳	55 人
80～89 歳	11 人
前立腺針生検の目的で 入院した患者の平均年齢	68.2 歳



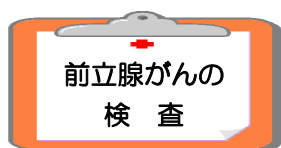
### ◎ 在院日数 ◎

前立腺針生検の目的で 入院した患者の平均在院日数	2.3 日
当院に入院した患者の平均在院日数	14.6 日

### ◎ 退院状況 ◎

自宅へ退院	158 人
-------	-------

※掲載した統計は、DPC データを用いたものです。DPC データは、入院中の「最も医療資源を投入した傷病名」による分類に基づきます。



### ◎ 直腸診 ◎

肛門に指を入れて、前立腺にしこりなどが無いか触って調べる触診検査しよくしんけんさです。

### ◎ PSA 値の測定 ◎

PSA (前立腺特異抗原ぜんりつせんとくいこうげん) と呼ばれる物質の血液中の値を調べる検査です。

PSA 検査は早期の前立腺がんのスクリーニングとして非常に有効であり、この検査で高い数値が出た場合には強く前立腺がんが疑われますが、前立腺肥大症や前立腺炎など、がん以外の病気で上昇することもあります。

### ◎ 経直腸エコー ◎

肛門から前立腺専用の超音波検査装置ちょうおんばけんさそうちを挿入して行う検査です。

### ◎ 前立腺針生検 ◎

#### 検査日程の概要をみる

会陰部や直腸より前立腺に向けて 10～12 回生検針せいけんぼり しにゅうを刺入し、前立腺組織の一部を標本として採取します。これについて顕微鏡けんびきょうで組織の検査を行ない、がんの有無の判定と悪性度の診断を行います。痛みなく組織が採取できるように、脊椎麻酔 (腰椎麻酔) 下で検査を行います。当院での組織検査の結果は、約一週間後に判明しますので、退院後、外来に再受診していただき説明を行います。

# 標準的な入院スケジュール

当院では治療や検査を進める標準的なスケジュール表を、あらかじめ作成しています。スケジュールに沿った治療、検査を行うことで、治療内容や安全性を一定に保つことができます。（緊急入院や合併症のある場合などは、個別にスケジュールを立てることがあります。）当院では、前立腺がんの検査に対応する以下のスケジュール表があります。

## ◎前立腺針生検のための検査入院◎

経過	入院前日	検査当日・検査前	検査当日・検査後	検査後1日目・退院
治療		 検査を腰椎麻酔で行います。		 尿の管を抜いた後、排尿があるかを確認し、医師の診察後退院となります。
検査				 9時前後に血液検査があります。
安静度		 病院の敷地内であれば、制限はありません。	 検査後12時間後まで起きたり歩いたりできません。	 朝、尿の管を抜いた後は、病院の敷地内であれば、制限はありません。
点滴		 検査前より点滴を始めます。	 検査後も引き続き点滴をしますが、異常がなければ終了です。	
処置		 朝から排便がない場合、浣腸をします。		
薬	 寝る前に下剤を飲んで下さい。	 医師の指示により普段の薬を飲んで頂く場合があります。		 朝から抗生剤の薬を飲みます。普段の薬は医師の指示で再開になります。
食事	 夕食まで普通のご飯を食べていただけます。21時以降は飲んだり食べたりしないでください。	 朝から飲んだり食べたりできません。	 検査後3時間後より水分が飲めます。	 朝から普通のご飯が出ます。
清潔		 必要時、身体を拭きます。		 シャワーまたはお風呂に入れます。
排泄		 制限はありません。	 検査後より尿の管が入ってきます。	 朝、尿の管を抜きますので、後は、トイレで排尿していただきます。
説明		 看護師より、検査と入院生活について説明をします。		 看護師より、退院後の生活について説明をします。

※こちらの表は1泊2日のスケジュールですが、2泊3日での検査入院も行っています。



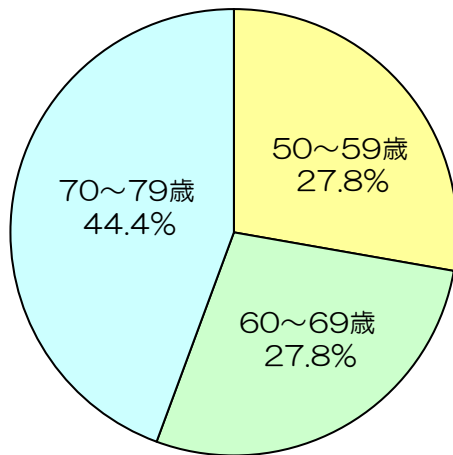
治療入院の  
平成 22 年度  
データ

◎入院患者数◎

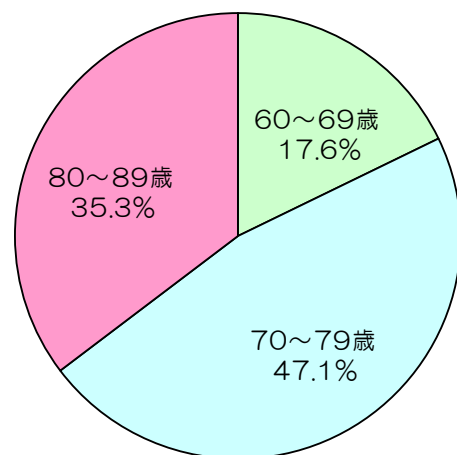
	手術あり	手術なし
前立腺がんの治療目的で入院した患者数	18人	17人

◎年齢構成◎

	手術あり	手術なし
50～59歳	5人	0人
60～69歳	5人	3人
70～79歳	8人	8人
80～89歳	0人	6人
90～99歳	0人	0人
前立腺がんの治療目的で入院した患者の平均年齢	65.6歳	74.2歳



手術あり



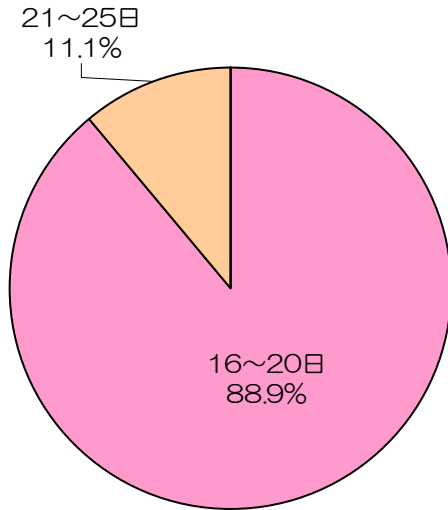
手術なし

◎平均在院日数◎

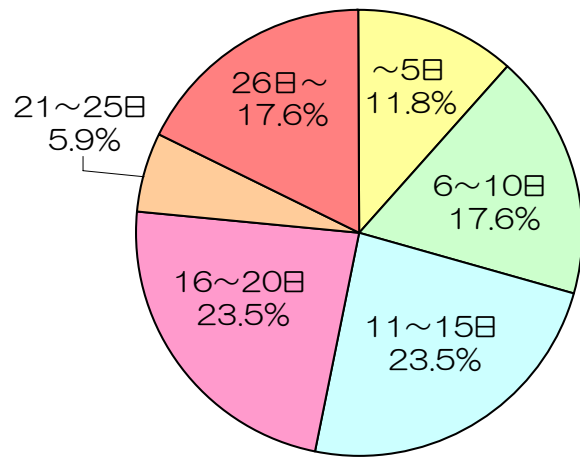
	手術あり	手術なし
前立腺がんの治療目的で入院した患者の平均在院日数	17.8日	17.5日

◎前立腺がんで入院した患者の在院日数による分布◎

	手術あり	手術なし
在院日数 ~5日	0人	2人
在院日数 6~10日	0人	3人
在院日数 11~15日	0人	4人
在院日数 16~20日	16人	4人
在院日数 21~25日	2人	1人
在院日数 26日~	0人	3人



手術あり

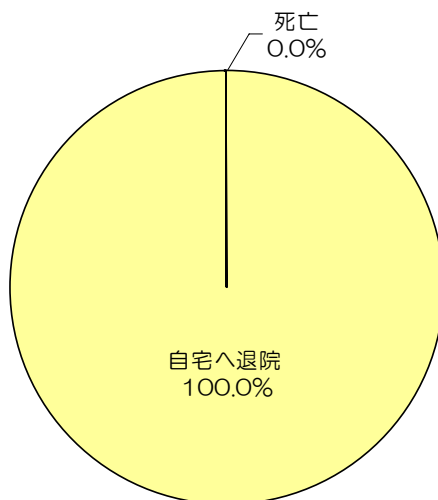


手術なし

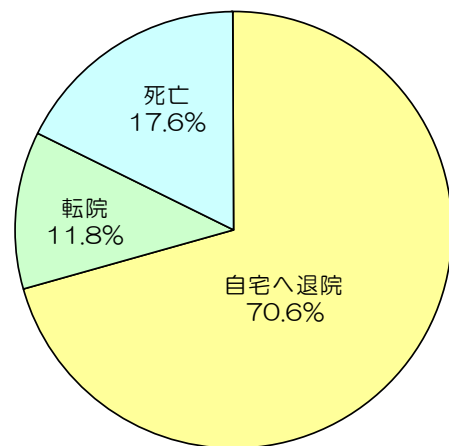
◎退院状況◎

	手術あり	手術なし
自宅へ退院	18人	12人
他病院へ転院	0人	2人
死亡退院*	0人	3人

※死因の内訳は、前立腺がん3人となっています。



手術あり



手術なし

※掲載した統計は、DPCデータを用いたものです。DPCデータは、入院中の「最も医療資源を投入した傷病名」による分類に基づきます。

## 前立腺がんの 治療

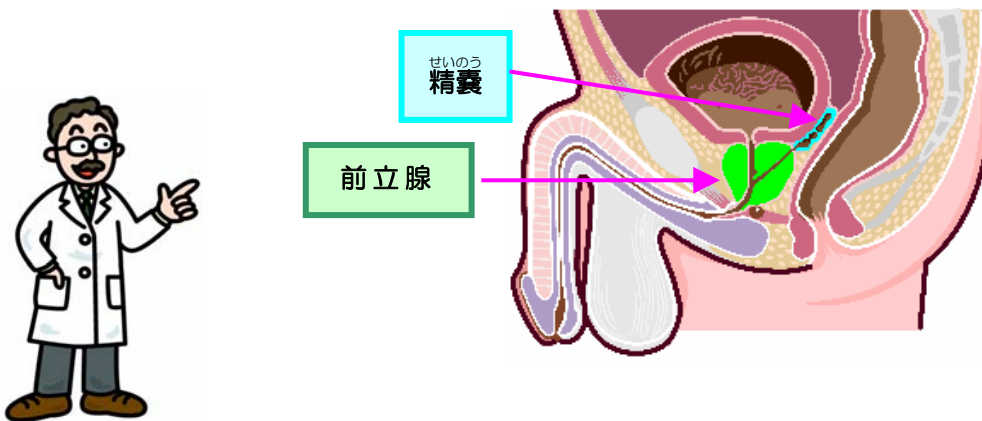
当院では前立腺がんの内科・外科的治療を『泌尿器科』で、放射線治療を『放射線治療科』で行っています。

治療方法については、患者様の年齢や転移の有無などで変わってきます。

早期がん（浸潤や転移などがなく、がんが前立腺内に限局している）の場合は、手術で前立腺を摘出する〈根治的前立腺全摘除術〉や、トモセラピーという最新の放射線治療器械による〈放射線治療〉を行います。

進行がん症例（浸潤や転移がある場合）や高齢者の場合には〈内分泌療法（ホルモン療法）〉を中心に行います。

当院では、病期と年齢を考慮の上、最も適切な治療を心がけています。



### ◎根治的前立腺全摘除術◎

#### 治療日程の概要をみる

前立腺を手術で全部取り除いてしまう治療法です。下腹部切開で、前立腺と精囊を摘出して、膀胱と尿道を縫合する手術です。

また、手術時に輸血が必要と判断される場合には、事前に自分の血液を貯血し、利用する方法（自己血輸血）を行っています。

### ◎内分泌療法（ホルモン療法）◎

前立腺がんの多くは、精巣や副腎から分泌される男性ホルモンの影響を受けて増殖していきます。内分泌療法（ホルモン療法）は、男性ホルモンの分泌や働きを抑えることにより、前立腺がん細胞の増殖を抑制しようとする治療法です。男性ホルモンの働きを抑える方法としては、薬（注射及び内服薬）による方法と、両側睾丸（精巣）を摘出することによる方法（去勢術）があります。

※薬による治療は、外来通院で行える治療法です。

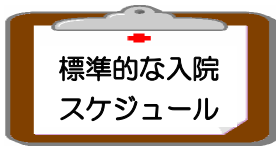
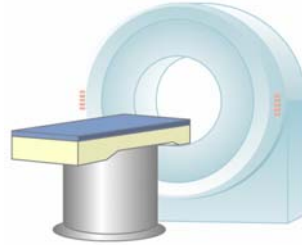


## ◎放射線治療〈トモセラピー〉◎

がん細胞は正常の細胞に比べ放射線のダメージを受けやすい性質があります。放射線治療はこの性質を利用して、体の外から放射線を照射し治療を行います。

当院で用いられている〈トモセラピー〉は最新鋭の放射線治療装置で、腫瘍の形に適した放射線治療を行なうため、正常細胞への副作用軽減と治療効果向上が期待されています。

※外来通院で行える治療法です。



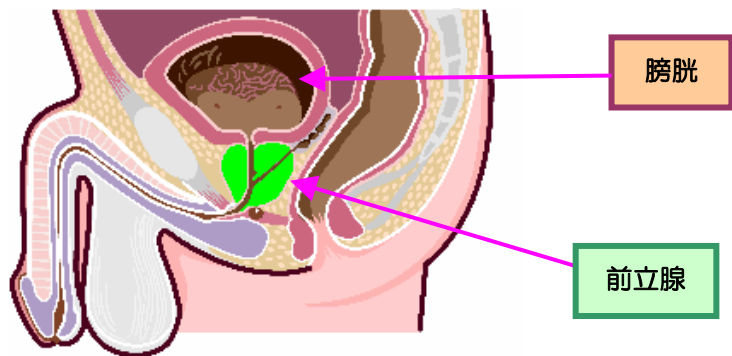
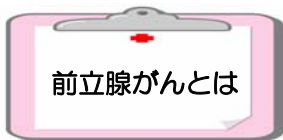
当院では治療や検査を進める標準的なスケジュール表を、あらかじめ作成しています。スケジュールに沿った治療、検査を行うことで、治療内容や安全性を一定に保つことができます。（緊急入院や合併症のある場合などは、個別にスケジュールを立てることがあります。）当院では、前立腺がんの治療に対応する以下のスケジュール表があります。

## ◎根治的前立腺全摘術を行うための入院◎

経過	入院日・手術前日	手術当日・術前	手術当日・術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目
治療		全身麻酔で手術を行います。		医師の回診があります。		
看護	手術後に必要となる物品について説明を行います。		術後、集中治療室へ入室となります。	集中治療室から一般病棟へ移動します。	退院に向けて、生活指導を行います。	
検査				朝、血液検査を行います。		
安静	病院内の敷地内であれば制限はありません。病棟を離れるときは声を掛けてください。	病院内の敷地内であれば制限ありません。点滴開始後は、できるだけ、安静にしてください。	ベッドから起き上がらないで下さい。寝返りは自由です。	ベッドから降りないで下さい。ベッドを起こした状態で過ごすことができます。	看護師がお手伝いをして、ベッド横で立つ事ができます。	病院内の敷地内であれば制限はありません。病棟を離れるときは声を掛けてください。
点滴		手術開始予定時間の1時間前から点滴を行います。	続けて点滴を行います。夕方に抗生剤の点滴を行います。	続けて点滴を行います。朝と夕方に抗生剤の点滴を行います。		朝2本、夕1本点滴を行いません。
処置		臍の中をきれいにするために、朝、洗滌を行います。	手術後から心電図の器械と酸素を取りつけます。			
薬	寝る前に下剤を飲みます。		術前、術後に新しい薬を飲むことはありません。普段飲んでいる薬については、医師が判断し、看護師からお伝えします。	普段飲んでいる薬については、医師が判断し看護師からお伝えします。		
食事	21時より食べることはできません。喉が潤いたときに潤す程度の水やお茶をとることができます。	朝から食べたり飲んだりできません。			医師の許可があれば、水分を取ることができます。	医師の許可があれば、昼食からおもげが出ます。水分の制限はありません。
排泄	トイレが使用できます。		手術の後から尿の管が入ります。安静が解除されるまではベッド上で排泄します。			
清潔	シャワー浴又は入浴ができます。			身体を拭きます。		身体を拭きます。
説明	医師・看護師から手術前後の予定について説明があります。ご希望があれば、医療福祉に関する相談ができます。					

～次ページへ続きます～

経過	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目	手術後8～11日	手術後12日目	手術後13日目	手術後14日目
治療	医師の回診があります。			創のピンを抜きます。				創に問題がなければ、退院予定です。
看護	退院に向けて、生活指導を行います。			尿漏れ予防の骨盤底筋体操について説明があります。		尿量チェック表について説明があります。		看護師より、退院時指導・説明があります。退院後も不安なく生活が送れるよう、説明します。
検査				朝、血液検査を行いません。				
安静	病院内の敷地内であれば制限はありません。病棟を離れるときは声を掛けてください。							
点滴	朝2本、夕方2本点滴を行いません。終了後、針を抜きます。							
処置				腹部の創処置を行いません。創は強くこすらないでください。		尿管を抜きます。その後、尿量チェック表に時間と尿量を記入します。		
薬	普段飲んでいる薬については、医師が判断し看護師からお伝えします。					朝から抗生剤を飲みます。		
食事	朝食から五分粥が出ます。夕食から全粥が出ます。	昼食から普通のご飯が出ます。						
排泄	尿管が入っています。排便はトイレが使用できます。					尿管が抜けた後は、尿を溜めて下さい。方法は看護師が説明します。		
清潔	医師の許可があれば、シャワー浴ができます。	シャワー浴ができます。					入浴ができます。	
説明	ご希望があれば、医療福祉に関する相談ができます。					薬剤師からお薬についての説明があります。		



前立腺ぜんりつせんは男性の精液の一部をつくり、成人でクルミくらいの大さの臓器です。膀胱ぼうこうのすぐ下に位置し、その真中を尿道が通っています。この前立腺の中にできるがんを前立腺がんといいます。前立腺がんは初期の段階ではほとんど症状がありませんが、次第に自覚症状として尿の出が悪かったり、残尿感ざんにょうかんを覚えたりすることがあります。さらに進行すると血尿けつにょうが出ることもあります。

## 前立腺がんの 病期分類

がんの進行状況により、4段階の病期分類が行われます。

### ◎病期 A◎

前立腺肥大症ぜんりつせん ひだいしょうの手術や、膀胱がんの手術などのときに偶然発見され、肉眼では見えないほどの小さな状態。

### ◎病期 B◎

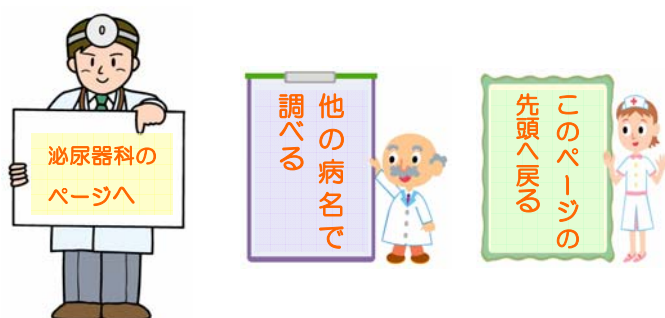
がんが前立腺の中にとどまっている状態。

### ◎病期 C◎

他の臓器（骨，リンパ節，肺，肝臓など）への転移は無いが，がんが前立腺の被膜ひまく（周りを被っている膜）を超えて外にでている状態。

### ◎病期 D◎

骨やリンパ節など、他の臓器に転移てんいをしている状態。



※掲載されている「入院スケジュール」等は、平成 23 年 5 月 1 日現在のものです。内容は変更となる可能性があります。